



## 海外留学でよくあるお悩み

### Q. イギリスとアメリカで進学先を迷っています

### A. イギリスの魅力をメインにいくつかポイントを紹介します

## 詳しいアドバイス

今回はイギリスをひいきに、イギリスの魅力を説明します。  
イギリスへの大学正規留学の大きな魅力は次の3点。  
それぞれの魅力について、アメリカと比較しながら説明します。

### イギリス大学への正規留学の魅力

#### 【魅力1: ランキング上位の大学が多い】

世界大学ランキングをみても、イギリスの大学はかなり多く入っています。

QS世界大学ランキングのトップ20大学中、5つはイギリスの大学です。

数だけでいえばアメリカの方が多のですが、イギリスの大学の数は約 120、アメリカは4,000以上あります。つまりランキング率でいえば、アメリカよりイギリスの方が上になります。

※QS世界大学ランキング: イギリスの大学評価機関のクアカアレリ・シモンズ(QS)が毎年9月に公表している世界の大学のランキング。

国際ランキング専門家グループ(International Ranking Expert Group)の承認を受けた唯一の国際ランキングで、世界大学学術ランキング、THE世界大学ランキングと並び、世界で最も広く読まれている大学ランキングの1つとされています

#### 【魅力2: 英語力の敷居が低い(入学時は)】

普通の高校生が卒業後にそのままイギリスの大学に進学するには、"ファウンデーションコース"と呼ばれるコースを履修する必要があります。

これは、本科に入った時に授業についていくための準備を目的としており、期間は 1年間です。

この準備期間中に現地で英語力を上げることが出来るため、入国時点で英語力が高くなくても名門大学へ入れる可能性があります。なおこのコースを経てから本科の授業を受け、3年間で卒業するので、卒業するタイミングは日本やアメリカと変わりません。

イギリスにはこのようなユニークな教育制度があるため、IELTS5.0でも英国名門大学へ入ることは不可能ではありません。

「もっと話を聞きたい」「留学に興味がある」方はこちらまで！

(相談無料)

URL: [https://www.ryugaku-johokan.com/contact/counseling\\_school/](https://www.ryugaku-johokan.com/contact/counseling_school/)

本資料はサービス導入校の生徒様・保護者にもみ提供されるものであり、引用又は第三者への提供はご遠慮ください。  
また、本資料は2022/3まで活用が可能となっています。 © (株)留学情報館 All Right Reserved





## 海外留学でよくあるお悩み

### 【魅力3:授業料が安い】

アメリカの名門大学と比較すると、イギリスの大学の授業料は安めです。

例えばニューヨーク大学の学費は 47,000ドル、約年間500万円程度なので、4年で卒業するとして2,000万円の予算がかかります。

一方イギリスの学費は年間で200万円前後。卒業までにかかる学費はファンデーションコースを入れても4年間で1,000万円はかからない程度です。約半分ですね。

もちろんアメリカは4,000以上の大学があるため授業料が安い大学もありますが、ことランキング 200に入るようなトップ大学を比較した場合は、イギリスの大学の方がコスパは良くなります。

### アメリカとイギリス、文化・国民性の違いは？

ここからは、文化や国民性などの生活面についてお話しします。

#### 【飲酒について】

開放的なイメージのアメリカと、きちんとしていそうなイギリスですが、実は飲酒に関しては逆です。アメリカは若者の飲酒に非常に厳しく、学生だけでなく、社会人でも気軽に昼間から飲むようなことは全くありません。一方イギリスはパブ王国。大人も若者もよく飲みます。飲酒に関しては非常に寛大ですから、飲みに行く機会も増えます。

#### 【外国人への態度や対応】

移民の国であるアメリカでは、外国人や留学生に対してあまり特別な待遇をすることはありません。例えば英語はできて当たり前。「外国人だから」は言い訳にならず、甘えた態度は許されない空気があります。一方イギリスは、実は留学生にはとてもやさしく、お客様扱いのように対応してくれる雰囲気があります。階級社会といわれますが、敏感なのはあくまでもイギリス人同士で、留学生は別、というイメージです。そのため特に大都市部では、留学生は冷たくされることはあまりなく、とても親切に世話を焼いてもらえます。

#### 【治安について】

アメリカと比較して、イギリスは治安の良さが国の誇りです。公園でもカバンを横に置いて横になり、芝生で昼寝ができるのがイギリスです。

#### 【留学生の出身国】

アメリカでは、同じアメリカ大陸の南米やアジアの留学生が多く、イギリスは地理的な条件から、ヨーロッパ各国からの留学生が多くいます。留学生の出身国のバリエーションとしては、近くに多数の国々があるイギリスの方が多様であるといえるかも知れません。

「もっと話を聞きたい」「留学に興味がある」方はこちらまで！

(相談無料)

URL: [https://www.ryugaku-johokan.com/contact/counseling\\_school/](https://www.ryugaku-johokan.com/contact/counseling_school/)

本資料はサービス導入校の生徒様・保護者にのみ提供されるものであり、引用又は第三者への提供はご遠慮ください。また、本資料は2022/3まで活用が可能となっています。 © ㈱留学情報館 All Right Reserved

